130th

CSR Report 2017

Countdown to 140th

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

社長あいさつ

このたびは弊社 CSR 活動レポートを手に取っていただきありがとうございます。

当レポートは、大川印刷の一年間の CSR 活動をご理解いただくため、ステークホルダーの皆さまに向け発行しております。

弊社の CSR 活動は、CSR のガイドライン規格である「ISO26000」の「7 つの原則」、「7 つの中核主題」をガイドとしながら、事業におけるリスクと機会を判断しつつ実施されています。中核主題にあげられている 7 つの社会責任に対しては、下記にあげる考えを基本とし、さらに独自の「企業行動規範」を設けることで、社内外にその基本的考えを明らかにしています。

弊社 CSR 活動の特徴として、「7 つの中核主題」のうち、環境、消費者課題、労働慣行、コミュニティへの参画の４分野を特に重点的活動テーマと捉えて活動していることがあげられます。それらを含む全活動は、単なるボランティア活動としてではなく、社会価値と事業価値を同時に実現させる CSV（共有価値の創造）であるべきとの考えのもと実施されています。これらに加え、2017 年度からは国連の提唱する SDGs（持続可能な開発目標）も取り入れ、活動を推進していく予定です。

当レポートは 2016 年度の活動内容を中心にご報告させていただいております。個々の内容につきましては是非本レポートにてご確認いただければと思います。今年も無事発行し、ご報告できたこと、ステークホルダーの皆さまに感謝申し上げます。

今後も皆さまのお役に立てるよう努力して参る所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願いいたします。

株式会社大川印刷　代表取締役社長
大川哲郎

大川印刷のCSR

私たち大川印刷は「情報産業の中核として信頼に応える技術力と喜びを分かち合えるものづくりの実現」を基本理念に掲げ、ISO の CSR 規格である「ISO26000」をガイドとしながら、本業を通じた様々な社会へのお役立ちを目指しています。

ISO26000
7 つの中核主題（社会責任）基本的な考え方

【組織統治】
基本理念である「情報産業の中核として、信頼に応える技術力と、喜びを分かち合えるものづくりの実現」に基づき、健全かつ公平な経営体制を構築し、経営の透明性・健全性・遵法性の確保、迅速かつ適切な情報開示に努めてまいります。

【人権】
ステークホルダー全ての人権と尊厳を尊重すること、また、いかなる差別や嫌がらせも許さず、それらを見過ごすことも許さないことを基本方針とします。

【労働慣行】
差別のない公平、公正を基本とし、お互いが尊重し合い、差別や嫌がらせのない職場環境を確保することで活力ある企業風土を醸成させます。また、学び合い、成長し合える組織風土づくりを大切にし、社員の心身のゆとり、豊かさを実現できるように努め、快適、安全で清潔な職場づくりを行うことを基本方針とします。

【環境】
持続可能な社会・経済の実現のためには、持続可能な環境を維持・向上させていくことが重要であると考えます。そのため、独自の「品質・環境方針」にて基本方針を示すと共に、今後は国連の提唱する SDGs の内容も取り入れ活動を推進していきます。

【公正な事業慣行】
ステークホルダーに対し、あらゆる法令及び規定業務の遵守をお約束するとともに、取引先に対しては、公正な取引関係のもと、業務を適正に受託し事業を実施することを基本方針とします。

【消費者に関する課題】
「消費者」は「生活者」と表現します。生活者に直結する課題として、「化学物質過敏症に関連する VOC の削減」、「3R を始めとした環境問題」、「製品における異物・異種混入の防止」、「情報保障としてのメディア・ユニバーサルデザインの推進」を重要課題として取り組みます。

【コミュニティへの参画】
地域の課題抽出および課題解決のため、企業・行政・市民・NPO・市民団体等のコミュニティへ積極的に参加していきます。

社内外通報制度

弊企業活動に伴うコンプライアンスの遵守、事件や事故に繋がりかねない潜在的なリスクの早期発見、早期対応ができるよう通報制度を設けています。社内窓口は本社総務部とし、社外窓口は中原総合法律相談事務所様とさせていただいております。

※お気づきの点がありましたら、P12 に記載のある「中原総合法律相談事務所」様までご連絡ください

大川印刷 CSR 新中期計画　新たな取り組み（2017 年～ 2020 年）

2020 年達成を目標に以下の新たな取り組みに着手します。

■社内使用電力の再生可能エネルギーへの 100%切り替え
■ SR 調達の徹底
■本社工場におけるゼロエミッション（廃棄物ゼロ化）の達成

大川印刷 ISO26000 7 つの中核主題（社会責任）対照表

中核主題	課題	取り組み項目	
①組織統治	組織統治	社長あいさつ	…P2
		企業行動規範	…P2
		品質環境方針	…P6
		地域志向・CSR 方針	…P8
②人権	デューディリジェンス※	企業行動規範	…P2
	人権に関する危機的状況	社内外通報制度	…P2
	加担の回避	社内外通報制度	…P2
	苦情解決	お客さまアンケート	…P6
		社内外通報制度	…P2
	差別および社会的弱者	プロジェクト	…P10
	市民的および政治的権利	社内外通報制度	…P2
	経済的、社会的および文化的権利	社内外通報制度	…P2
	労働における基本的原則および権利	社内外通報制度	…P2
③労働慣行	雇用および雇用関係	社内外通報制度	…P2
	労働条件および社会保障	社内外通報制度	…P2
	社会対話	委員会活動	…P7
	労働における安全衛生	ノン VOC インキ	…P4
	職場における人材育成および訓練	委員会活動	…P7
		インターンシップ制度	…P8
		CSR 推進シート	…P7
		CSR 報告会	…P7
		工場見学	…P9
④環境	汚染の予防	ノン VOC インキ	…P4
	持続可能な資源の利用	FSC® 森林認証紙	…P4
	気候変動の緩和および気候変動への適応	CO_2 排出量削減	…P5
		CO_2 ゼロ印刷	…P5
	環境保護、生物多様性および自然生息地の回復	イベントへの参加･協力（植樹祭）	…P9
⑤公正な事業慣行	汚職防止	社内外通報制度	…P2
	責任ある政治的関与	社内外通報制度	…P2
	公正な競争	社内外通報制度	…P2
	バリューチェーンにおける社会的責任の推進	CO_2 排出量削減	…P5
		FSC® 森林認証紙	…P4
		ノン VOC インキ	…P4
		CO_2 ゼロ印刷	…P5
	財産権の尊重	社内外通報制度	…P2
⑥消費者課題	公正なマーケティング、事実に即した偏りのない情報および公正な契約慣行	お客さまアンケート	…P6
	消費者の安全衛生の保護	ノン VOC インキ	…P4
	持続可能な消費	FSC® 森林認証紙	…P4
	消費者に対するサービス、支援、並びに苦情および紛争の解決	お客さまアンケート	…P6
		クレームからの改善	…P6
		委員会活動（品質保証チーム）	…P7
		プロジェクト	…P10
	消費者の安全衛生の保護データ保護およびプライバシー	CSR 活動	…P4
		PISM	
	必要不可欠なサービスへのアクセス	CSR 活動	…P4
	教育および意識向上	お客さまアンケート	…P6
		クレームからの改善	…P6
		委員会活動（品質保証チーム）	…P7
⑦コミュニティ参画および発展	コミュニティへの参画	地域志向・CSR 方針	…P8
		インターンシップ制度	…P8
		講演活動	…P9
		イベントへの参加・協力	…P9
		環境絵日記	…P9
		工場見学	…P9
		プロジェクト	…P10
	教育および文化	インターンシップ制度	…P8
		講演活動	…P9
		プロジェクト	…P10
	雇用創出および技術開発	インターンシップ制度	…P8
	技術の開発および技術へのアクセス	工場見学	…P9
	富および所得の創出	人財育成・価値創出	…P7
	健康	イベントへの参加・協力	…P9
	社会的投資	CO_2 ゼロ印刷	…P5
		プロジェクト	…P10

※デューディリジェンス…自分の組織やその関係組織（取引組織）が人権を侵害していないかを確認し、侵害している場合はその是正をすること

主なCSR活動

弊社では「CO_2 排出量削減」、「CO_2 ゼロ印刷の推進」、「FSC® 森林認証紙の推進」、「ノン VOC インキの使用推進」の 4 項目を、本業を通じて取り組める CSR 活動と位置づけ、重点的な推進活動を行っています。

ノン VOC（石油系溶剤 0%）インキの使用

2005 年から環境や人体に有害な VOC（揮発性有機化合物）を含まないノン VOC インキの導入を開始しています。すでに基本となるカラー 4 原色（CMYK）は全面切り替えが完了（2005 年）しており、残る特色インキのノンVOC化も進んでいます。

ノンVOCインキマーク

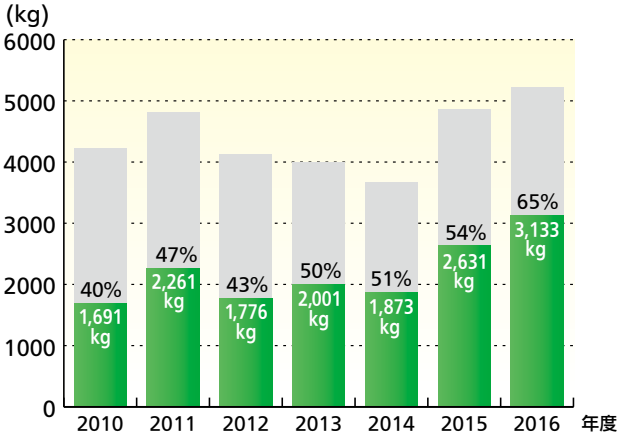
2016 年実績　医薬品添付文書印刷のノン VOC 化により、インキ年間総使用量 5,222kg のうち、ノン VOC インキ使用量は 3,133kg となり、年度目標の 3,115kg を達成することができました。（2015 年度ベースでインキ全体使用量の約 65%）

2017 年目標　お弁当掛け紙のノン VOC 化を推進し、使用量 3,655kg 達成を目指します。（2016 年度ベースでインキ全体使用量の約 70%）

2018 年目標　インキ全体使用量 80%の達成を目標とします。

2019 年目標　インキ全体使用量 90%の達成を目標とします。

2020 年目標　インキ全体使用量 100%の達成を目標とします。



FSC® 森林認証紙の使用推進

2004 年から FSC® 森林認証紙を積極的に使用しています。FSC（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）によって認証された紙は、違法伐採されていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを原料としています。FSC® 森林認証紙を使用することは、違法伐採の防止、持続可能な資源の活用へとつながります。

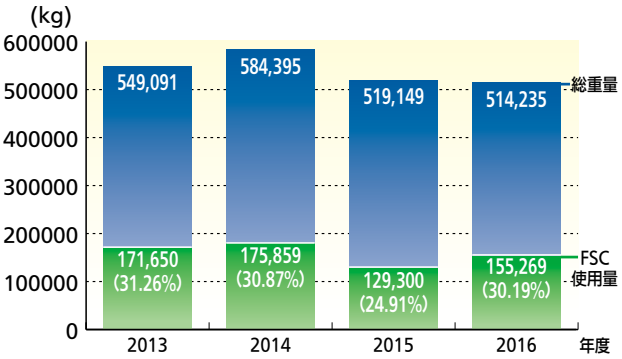
FSC マーク

2016 年実績　FSC® 購入比率の 35%を目指し、達成の為に、ロール紙・お弁当掛け紙用紙の FSC® 化を進めてきました。しかし、購入比率目標 35%に対し、購入比率 30.19%という結果になりました。

2017 年目標　2017 年はロール紙だけでなく、お弁当掛け紙・包装紙用紙を含めて FSC® 化をすすめ、購入比率 35%の達成を目指します。

2018 年目標　購入比率 50%の達成を目標とします。

2020 年目標　購入比率 65%の達成を目標とします。

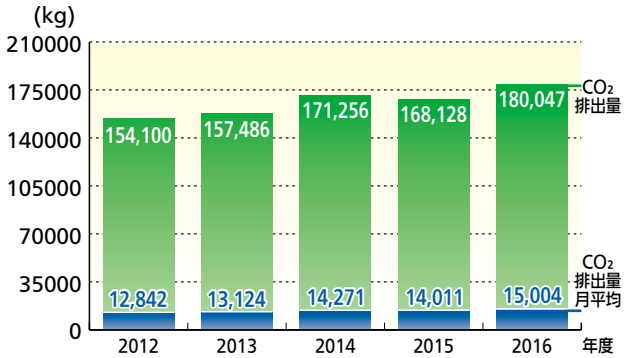


CO_2 排出量削減

2007 年から全社における電気使用による CO_2 の年間排出量を計測し、CO_2 排出量削減に継続して努めています。

2016 年 実績 CO_2 排出量目標（月平均）13,310kg に対し、排出量（月平均）15,004kg という結果になりました。売上単位排出量（月平均）に換算すると 3.1kg となり、2015 年の実績 3.2kg より約 5% の削減となりました。

2017 年 目標 検査カメラの導入により不良品の削減を行い、売上単位排出量（月平均）3.0kg 削減を目指します。（2016 年度ベースで約 3%削減）



CO_2 ゼロ印刷開始

2016年から自社印刷事業により排出される年間の CO_2 を算定し、その全量をカーボン・オフセット（相殺・打消し）する「CO_2 ゼロ印刷」を業界に先んじて開始しました。CO_2 ゼロ印刷は、政府の推進する CO_2 の国内排出量取引制度「J - クレジット」を使用し、弊社より排出される CO_2 と同じ分だけを、国内の森林育成事業や温室ガス吸収事業に投資することでオフセット（相殺・打消し）することで達成されます。

カーボンオフセットマーク

CO_2 排出量 100%カーボン・オフセットの仕組み

各地の CO_2 削減事業	・北海道下川町、山梨県の FSC® 認証林の森林育成 ・家庭用太陽光の導入

クレジット調達（J - クレジット）↓　↑プロジェクトの支援

大川印刷	印刷事業に関わる CO_2 排出量をゼロへ

CO_2 ゼロ印刷物を納品 ↓　調達により環境貢献

顧客事業者	「スコープ 3（その他の間接排出量）削減に貢献」

2016 年 実績 2014 年の年間 CO_2 排出量 171t/CO_2 を算出。この数値を元に 175t/CO_2 を植林保全で J-クレジット制度を活用しカーボン・オフセットいたしました。

2017 年 目標 2015 年の年間 CO_2 排出量 168t/CO_2 を元に 170t/CO_2 を購入し、CO_2 ゼロ印刷とします。再生可能エネルギーへの切り替えを進め、グリーン電力も活用します。

2018 年 目標 2016 年の年間 CO_2 排出量 180t/CO_2 を元に 180t/CO_2 を購入し、CO_2 ゼロ印刷とします。再生可能エネルギー 100% 使用を目指します。本社屋根に太陽光パネル設置など、自社発電、省電力化を進めます。

2019 年 目標 2018 年度に達成（予定）の再生可能エネルギー 100%印刷を推進します。配送トラックなどで発生する一部 CO_2 に関しては、J- クレジット制度を活用しカーボン・オフセットいたします。

【CO_2 ゼロ印刷の仕組み詳細はこちら】
http://www.dreamnews.jp/press/0000129584/

オフセット（相殺・打ち消し）事業投資事業内訳

年度	2016 年	2017 年（予定）	2018 年（予定）	2019 年（未定）
住宅太陽光パネル設備の導入における発電事業	165t	159t	169t	―
北海道下川町五味温泉等の森林バイオマス活動事業	5t	5t	5t	―
山梨県県有林活動温暖化対策プロジェクト	5t	5t	5t	―
横浜ブルーカーボンプロジェクト		1t	1t	―

品質に関する取り組み

弊社は ISO9001 の認証を受け、同規格に沿った品質管理体制を採っています。さらに、独自の「品質・環境方針」を定め、品質・サービスの向上に努めています。

大川印刷 品質・環境方針

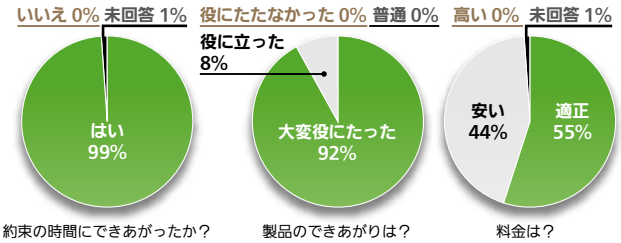
1. 「品質」とは製品の品質だけを対象とするのではなく、提供するあらゆる「サービス」についてもその対象とします。そのため、製品やサービスの環境対応、環境負荷の低減、汚染防止についても私たちが提供する「品質」の重要な一部です。
2. 「顧客満足（CS）」とは「お客様の期待を上回ること」と定義すると共に、環境対応も CS の一部として活動します。
3. 「従業員満足（ES）は顧客満足（CS）に先立つ」という考えのもと、ES の向上を推進します。
4. 自社の提供する製品やサービスの「品質」と環境対応の向上が ES の向上にもつながるものと捉えています。
5. すべての活動は法令順守、規格要求事項の順守のもと行われ、継続的改善を行うものとします。

2014 年 9 月 3 日

お客さまアンケート

納品時に「お客さまアンケート」の添付を実施しています。お客さまのご要望やご意見、クレーム、お礼の言葉などを全体に共有し、品質とサービスの向上に努めています。

送付件数	1447
回答件数	133（回収率：9%）



クレームからの改善

K財団様からの苦情

お客さまからいただいた苦情内容

前号の払込取扱票が印刷されとじ込まれていました。

原因

制作部門の担当者が、支給された印刷用データの全てを校正用に出力せず、冊子本体の色校正用データのみを出力してしまいました。また、営業担当者が校了後下版の際に、前号の払込取扱票を印刷原稿として添付してしまったことが原因で起こりました。

改善

制作部門の担当者は、お客さまから支給された原稿用データは全て校正用に出力し、営業担当者は、必ず校了紙を印刷原稿として添付して下版することを厳守するよう改善しました。

S社様からの苦情

お客さまからいただいた苦情内容

お客さまの顧客宛に冊子の発送を行った際、宛名ラベルに不要な情報が印字された状態で発送されていました。

原因

営業担当者および作業担当者が、お客さまから支給された宛名ラベル用のデータ内容と出力した内容の確認をしなかったため、お客さまの管轄する営業所名が入っていることに気付かず、宛名ラベルの出力を指示してしまったことが原因で起こりました。

改善

営業担当者は、支給された宛名ラベル用データの内容をチェックして不足情報や過多情報の有無を確認し、宛名ラベルを出力するように改善しました。

教育に関する取り組み

弊社では真の企業価値は人財にこそあると考え、日常業務を通じたさまざまな人財育成、教育活動を行っています。

委員会活動（2016 年度）

2010 年から全社横断、全従業員参加の委員会活動を行っています。委員会活動では、社内・社外のさまざまな課題解決、改善活動を行っています。

ビジョン推進室

ES 委員会

従業員満足度を向上させる
社内改善や社内外活動への参加など

CSR 委員会

CSR・CSV 活動全般の企画運営など

品質保証チーム

社内における「品質」向上と改善のための活動

CSR 推進シート

2015 年度より CSR 推進シートを運用しています。CSR 推進シートとは、CSR 活動を行う際のステークホルダーやメリット、スケジュールや予算等を記入していくものです。これを用いることで、従業員がわかりやすく活動内容を整理し、知ることができるため、皆で改善を行いよりよい活動にすることができます。また、履歴や記録としても残るため、次回の活動にも役立ちます。今後、記入者や閲覧者の意見に基づき改訂し、より使いやすい CSR 推進シートにすることで、さらなる活動の推進へとつなげていきます。

CSR 報告会

2012 年より CSR 報告会を毎年開催しています。報告会では、ステークホルダーの皆さまに最新の活動内容をご報告させていただくと共に、日頃のご理解とご支援への感謝を伝え、交流をはかる場となっています。

2017 年 2 月 22 日（水）、今回で 5 回目となる弊社 CSR 報告会を YCC ヨコハマ創造都市センターにて開催しました。
今年度の報告会は「CSR を楽しもう！」と題して、人とのつながりを大切にし、楽しみながら共有価値を創造する取り組みの実例を発表しました。
「横浜サンタプロジェクト」「多言語版おくすり手帳」「横浜3世代タクシー」で一緒にプロジェクトを行なっている方々に登壇していただき、来場された 99 名の方に、より深い活動内容を紹介し、交流することができました。

地域貢献に関する取り組み

弊社では独自に「地域志向・CSR 方針」を定め、地域社会の一員として、さまざまな地域貢献活動を行っています。

大川印刷 地域志向・CSR 方針

株式会社 大川印刷は、地域社会にとって有益なサービスを提供するため法令を順守し、2020 ビジョン、「企業行動規範」の下で、以下の事項を企業活動の中で実施します

【目的】
100 年企業としてこれからも地域に貢献し、企業経営を継続していくこと目的に CSR 活動を推進しています。
【目標】
そのために地域や社会に必要とされる人と企業になることを目標とし、あらゆる「良いこと」を実践していきます。
■お客様に対して
・お客様のご要望に真心を持って応え、要求された品質を確実にご提供致します。
・関連法令を順守し、お客様に信頼される営業活動を推進致します。
■地域社会に対して
・地域の経済や社会の健全な発展のため地域貢献活動を積極的に推進します。
■従業員に対して
・労働関連法令を順守し、安全で働き易い職場環境作りを推進します。
■ステークホルダーに対して
・ステークホルダーの皆様とともに発展して行くため、信頼関係を積極的に醸成していきます。
■環境に対して
・自らが環境問題に対し行動ができるひとりの人間として日頃から興味を持って情報の収集と知識の蓄積に自己努力するとともに出来ることから自発的に行動していきます。

地域志向 CSR マネジメント・システムとその成果を改善し続ける努力をします。

平成 21 年 2 月 26 日
株式会社　大川印刷
代表取締役　大川哲郎

平成 21 年に制定した地域志向・CSR 方針

インターンシップの受け入れ

2008 年より大学生や留学生を中心に長期インターンシップの受け入れを行っています。2016 年度末までに計 31 名の受け入れを行い、学生ならではの新鮮なアイデアで社会課題解決のためのヒントや多くのプロジェクトが生まれました。

学生インターンシップ生（2016 年度）

小林綾子（こばやしあやこ）さん
神奈川大学

GREEN CALENDARの販売促進を行いました。「SoooooS.」という社会貢献型製品をセレクト販売しているサイトに掲載していただくことになりました。

汪兪廷（おうゆてい）さん
台湾インターン生

彼女自身がヴィーガン※だったため、日本でもっとヴィーガンを知ってもらうプロジェクトを企画しました。「大ど根性ホルモン」にてイベントを行い、ヴィーガン対応のメニュー制作などヴィーガンへの理解や関心を持ってもらう良い機会となりました。

※ヴィーガン…動物性の食品だけでなく製品も選択しない方々のこと

髙橋碧衣（たかはしあおい）さん
横浜市立大学

影山先生のゼミ生で、企業での CSR を実際に体験したいということでインターンシップに来られました。CSR の和（社内報）の編集長など体験していただき、映画監督の鎌仲ひとみ様にインタビューをしたことは良い経験になったと思います。

教員インターンシップ生（2016 年度）

成田奨（なりたたすく）さん
馬場小学校

相馬仁美（そうまひとみ）さん
西寺尾小学校

研修での横浜ひとまち百景を通じて、今後は自分が育った「まち」に愛着をもつ子どもを育成すること、また環境について考え、行動や商品を選択できる子どもを育成していくことが大切であると感じていただけました。

講演活動（2016 年度）

2016/05/17 横浜国立大学
06/28 埼玉県中小企業家同友会
07/05 横浜市立大学
07/19 横浜市立大学
07/20 浜銀総合研究所
10/13 横浜グリーン購入ネットワーク
10/20 フェリス女学院大学
11/24 横浜市青葉区
2017/01/13 横浜市経済局
01/18 神奈川県公害防止推進協議会
01/30 神奈川ロータリークラブ

ご意見・ご感想

- 従業員さんに VOC 対策のやる気を出すのにどのようにしたのか知りたい。
- 化学物質管理、リスクアセスについて再認識ができた。やはり該当する物質の削減などが必要と感じた。

メディア掲載

2016/04/01 日刊工業新聞「CO_2 ゼロ印刷」
04/30 月刊『企業診断』2016 年 5 月号
07/14 はまれぽ.com「印刷会社が取り組む『社会変革』って一体何 !?130 年以上も続く総合印刷業の老舗『大川印刷』」
08/13 毎日新聞「４カ国語でお薬手帳」
11/10 印刷新報「日印産連 印刷産業環境優良工場表彰受賞」
11/14 日本印刷新聞「GP マーク普及準大賞」
12/14 カウテレビジョン「社長室インタビュー『社長室 101』」
2017/01/29 サキどり↑「デザインで社会をよくする８つの方法」
01/30 神奈川ビジネス Up To Date「創業 135 年・老舗印刷会社の今とこれから」
02/16 タウンニュース「『おもてなし』を形に『「横浜金魚」コースター』」

イベントへの参加・協力

様々なイベント参加により地域社会と交流を深め従業員の健康増進に貢献するとともに、支援活動や CSR 情報の発信も行っています。

湘南国際村めぐりの森植樹祭 '16/5/8（他 1 回開催）

ユニセフ･ラブウォーク in 川崎 '16/5/22

1Day for Others '16/6/15

合同就職説明会ハマショク '16/6/29（他 1 回開催）

ザキ祭り '16/8/21（他 1 回開催）

横浜運河パレード '16/10/15

横浜サンタプロジェクト '16/12/10

WE フェスタ春 '17/3/12

環境絵日記地元企業賞表彰

2014 年より横浜市資源リサイクル事業協同組合主催の「環境絵日記」に、地元企業賞の選定と表彰に協力をしています。

2016 年度受賞作品
「未来のヨコハマについて地球の仲間と考えよう」

工場見学の受け入れ

クライアントから地域の皆さままで、年間を通じて積極的に工場見学を受け入れています。工場見学に加え、CSR 活動も紹介しています。

工場見学件数（2016 年度）	17 件
工場見学人数（2016 年度）	**264 名**

プロジェクト

おくすり手帳普及プロジェクト

神奈川県内には約 19 万人の外国人が暮らし、その多くの人が言葉の壁から十分な医療を受けることや災害情報を得ることが困難な状況にあります。そこで多言語版おくすり手帳が手助けとなればと、共生のまちづくりネットワークよこはまと協働事業を開始。地元 NPO や国際交流ラウンジなど 14 団体にモニタリングを依頼、パルシステム神奈川ゆめコープ 2016 年度市民活動支援プログラムに応募、そして協賛広告や個人寄付を募り、手帳完成を目指しました。

よこはま国際フォーラム 2017 にて発表
左から、共生のまちづくりネットワークよこはま 飯田様・小池様、弊社蓑輪

毎日新聞に掲載

横浜ひとまち百景

お客さまのパンフレット

絵はがき

横浜の身近な風景をイラスト化し、そのイラストを活かしてカレンダーや絵はがき、便箋などのステーショナリーにして、まちの活性化のお手伝いをしています。本年度も新たな風景が仲間入りし、お客さまのパンフレットやカレンダーに採用されました。イラストは全 46 件になりました。

みなとみらい・横浜 3 世代タクシー

神奈川県タクシー協会とフェリス女学院大学 国際交流学科 横浜学ゼミ（大西ゼミ）のコラボレーションによる「みなとみらい・横浜 3 世代タクシー」のプロジェクトに企画から参加させていただきました。
「かながわ観光タクシープロジェクト」の更なる普及・認知の向上と、足腰が弱くなって家に引きこもりがちのおじいちゃん・おばあちゃん、小さい子を連れて買い物するのは大変なお母さん、そんな家族の絆を深めるために、快適な移動が可能なタクシーならではのツアーを提案いたしました。
弊社では、パンフレットの制作及び学生達の試乗会でのパンフレット用の写真撮影を行いました。社会的にも大変意義のある企画を立案できたと感じました。

WEB は
こちらから

活版体験～製品開発について

工場見学での体験の様子

上から順に
明朝五號、横浜金魚

2015 年より、活版印刷機「手フート」を導入いたしました。活版印刷とは、凹凸のある版を利用した印刷方式のひとつで、手フートではこれを 1 枚 1 枚手作業で行います。弊社ではこの活版印刷機を用いた工場見学やイベントでの印刷体験を行っています。
また、オリジナルのデザインに加え、1920（大正 9）年発行の『大川印刷活字見本帖』のデザインを活用した製品づくりも行っています。印刷や弊社の歴史を伝えるため、これからも活動を行っていきます。

第三者コメント

ＩＩＨＯＥ（アイアイエイチオーイー）　人と組織と地球のための国際研究所　代表　川北秀人　様

当意見は、本報告書および同社のウェブサイトの記載内容に基づいて執筆しています。

同社の CSR への取り組みは、環境負荷の削減や地域社会貢献活動を中心に、意欲的に進められていると言えます。

高く評価すべき点

・2017 年から 2020 年までの新たな CSR 中期計画（P3）において、使用電力の再生可能エネルギーへの 100% 切り替え、資材調達における社会責任（SR）調達への切り替え、本社工場における廃棄物ゼロ化達成の 3 項目を目標に掲げたこと。この 3 項目に関する現状と今後 3 か年で実施される予定の取り組みについても、定量的に開示されることを期待します。

・二酸化炭素の排出量や有機溶剤の使用量をはじめとする環境負荷の削減（P4-5）について、定量的な把握ならびに主な負荷の削減が継続的に実践されていること。当年度から、2020 年までの中期的な目標が併記されていることを、特に高く評価します。今後は、FSC® 森林認証紙の使用について、取引先に対する働きかけや、その反応に対する貴社の工夫なども、ウェブサイトや当レポートなどで紹介されることを、引き続き期待します。

・地域イベントへの協力や大学生インターンシップの受け入れをはじめとする地域社会貢献活動（P8-10）について、経営者自らが率先して社内外でイニシアティブを発揮し、「おくすり手帳普及プロジェクト」をはじめとする多様な実践とともに、他社の模範となる水準にあること。今後も、従業員の方々によるボトムアップ型の取り組むも含め、継続されることを期待します。

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

・品質・環境方針（P6）に基づく全社的・日常的なマネジメントへの落とし込みについて、方針を定め、当該年度と次年度の目標や具体的な施策・改善を明記していること、顧客からのクレームへの対応やそれに基づく改善をレポートに開示していることを評価しつつ、今後は、2020 年ごろを視野に入れた中期的な目標や定量的な指標が明記されることを、引き続き期待します。

・全従業員参加による CSR の推進体制（P7）について、「CSR 推進シート」を運用することにより、目的や進め方などの共有や改善が期待されることを評価しつつ、今後は、着手されていない課題・案件についても、同様に、共有や改善の対象とされることを期待します。

一層の努力を求めたい点

・ISO26000 に掲げられた中核主題のうち、環境負荷削減と地域社会貢献以外の主な社会責任への取り組み、特に従業員や消費者への配慮・対応、基本的な考え方、現状と進め方の方針について、労働慣行が「重点的活動テーマ」に取り上げられているにもかかわらず、引き続き示されていないことを憂慮するとともに、日常的なマネジメントに落とし込んだ実践や報告が行われることを、重ねて強く期待します。

ＩＩＨＯＥ：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に 1994 年に設立された NPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業の CSR 支援も多く手がける。http://blog.canpan.info/iihoe/

川北秀人氏：CSR 関連分野での略歴（2017 年 12 月現在）
1964 年大阪生まれ。87 年に京都大学卒業後、㈱リクルートにて国際採用・広報・営業支援などを担当し、91 年に退職。国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94 年に IIHOE 設立。NPO や社会責任志向の企業のマネジメント、市民・事業者・行政などが総力を挙げて地域を守り抜く協働・総働の基盤づくり、企業のみならず、NPO や自治体における社会責任（CSR・NSR・LGSR）への取り組み推進を支援している。

第三者コメントをうけて

株式会社 大川印刷　代表取締役社長　大川哲郎

2014 年度より継続して川北様に第三者意見を執筆して頂いて参りました。

当年は二酸化炭素排出量および溶剤関係の削減を推進してきたことについて、そして 2015 年よりスタートした CO_2 ゼロ印刷を始めとした脱炭素社会へ向けた貢献について高く評価頂きました。

ご指摘いただいたように今後、新たに設定した 2017 年から 2020 年までの CSR 中期計画において、使用電力の再生可能エネルギーへの 100% 切り替え、資材調達における社会責任（SR）調達への切り替え、本社工場における廃棄物ゼロ化達成の 3 項目の目標に対し、実施される取り組み、取引先に対する働きかけ、その反応に対する対応・工夫をウェブサイト・本レポートで開示していきます。

また「おくすり手帳普及プロジェクト」を始めとする様々なボトムアップ型の地域貢献活動もステップアップさせ、より成果を出すことができるよう積極的に推進して参ります。

一方で各種方針や目標、特に中期目標について、定量的な指標・評価がまだまだできていない点は、今後更なる努力が必要であると感じています。また、「CSR 推進シート」の運用についても、まだまだ見直す点も少なくないため、運用の仕方も見直します。

ISO26000 に掲げられた中核主題のうち、「重点的活動テーマ」として挙げている従業員や消費者への配慮、労働慣行については、具体的な取り組みや成果、日常的なマネジメントと実践内容をきちんと開示していくよう改善いたします。

編集方針

当レポートはステークホルダーのみなさまに私たち大川印刷の取り組みを広くご理解いただくため、2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までの活動内容を中心に編集しています。

グリーン購入ネットワーク「オフセット印刷サービス発注ガイドライン」に基づき作成しています。

印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。

リサイクルを阻害しない資材だけを使っています。

P10354

見やすさに配慮した、ユニバーサルデザイン書体を使用し、年齢の差、障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすく見やすい、メディア・印刷物である MUD 認定を取得しています。

有害な VOC（揮発性有機化合物）を発生させるもととなる石油系溶剤が 0%のインキを使用しています。

違法伐採がされていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを活用して製造された、FSC® 森林認証紙を使用しています。

CSR に取り組む印刷会社が制作・印刷しています。

P-00027

この CSR レポート 2017 を作成するにあたり、電力使用量は 79.6kwh、CO_2 排出量は 38.1kg となります。2016 年 4 月より行っている、印刷事業において発生する CO_2 全てをカーボンオフセット（相殺）した「CO_2 ゼロ印刷」で印刷しています。

「横浜地域貢献企業」の【最上位認定】を受けています。

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

HP　Facebook　Twitter　Instagram

本社・工場：〒 245-0053　横浜市戸塚区上矢部町 2053 番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135

横浜営業所：〒 220-0011　横浜市西区高島 2-14-12 ヨコハマジャスト 2 号館 3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014

弊社企業活動におけるコンプライアンスに関わる問題、その他お気づきの点がありましたら右記までご連絡をお願い申し上げます。

株式会社大川印刷 社外通報窓口
中原総合法律相談事務所（中原 茂 弁護士）
TEL：045-650-7780